

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和5年11月21日

第167号

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

地域おこし協力隊員



いな
稲ちゃん活動報告！



黒大豆枝豆の収穫と、

福住地区西部の調査撮影を行いました

10月15日に、福の里農業小学校で黒大豆枝豆の収穫と稲収穫後の田への施肥を行いました。当日の丹波篠山市内では、「枝豆渋滞」が各所で発生し、到着が遅れてしまうご家族が出るほどの賑わいぶりでした。日照りの影響が心配されましたが、当圃場の枝豆はまずまずの出来で、各生徒一畝ずつの収穫量となり、大満足の様子でした。来月の最終授業では、丹波黒大豆と小豆、山の芋を収穫します。

当月には、『オリエンテーリングガイドブック（平成3年刊）』の案内に従って、二ノ坪・箱谷・小野新・小野奥谷方面の魅力を調査撮影しました。「福住は西から開けた」というそうですが、平安時代に八匹の駅馬を置き、官用で通る駅使に便を図ったという小野駅の史実には、とりわけ感銘を受けました。駅跡の標柱と地蔵小屋の写真を、福住祭に出展する予定です。

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話（080-9534-4275）まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」は、毎月第4木曜日に定期開催！

11月は30日（木）、12月は21日（木）開催予定です。※その他の日でも相談頂ければ対応いたします。

伝統行事「亥の子（いのこ）」開催！

コロナで中止が続いていましたが、11月13日、福住下集落では4年ぶりに亥の子が開催され、子どもたちの元気な歌声が響いていました！川原集落でも行われました。

これからも引き継いでいきたい伝統行事ですね！



一本杉販売所だより



みなさん、こんにちは！

枝豆のテント販売も終了し、丹波黒豆栽培農家さんのなかには、早いところは豆の葉取り作業が始まっている方もあります。

いよいよ寒い冬がやって来ますが、今日の販売所は新鮮野菜でいっぱいです。

水菜・かぶら・大根・菊菜・チンゲン菜・獅子唐などと、これも丹波篠山特産の取れたての山の芋、入荷が始まりました！

柿もたくさん入荷しており、枝豆販売は終了しましたが新鮮野菜がいっぱいです！

農家レストラン福住も秋の味覚を使ったメニューを準備し、お待ちしております！

みなさんからの「福住さとねっと」への投稿・情報提供お待ちしております！

＝福住さとねっと編集部＝

留学生が家に来た！ 10/18-23

＜丹波篠山市の姉妹都市、米国ワシントン州ワラワラ市から市民訪問団が来篠。ここ福住でも男子高校生がホームステイで1週間を過ごしました。今回、ホストファミリーを務めてくれた小学校1年生の方から感想のお便りをいただいたので紹介します＞

「ホストファミリーをしませんか？」と電話がありました。私は、ホストファミリーはわからないけどやってみようと思いました。アメリカから留学生が来て、いっしょに生活するとわかって、英語がわからないからどうしよう、と思いました。でも楽しみでした。



10月18日、私の家にティエナンという名前の、16歳のアニメとおにぎりが大好きなお兄ちゃんが来ました。ティエナンさんと友だちと一緒にUNOをしました。ルールを伝えようとしたら、英語が分からなくてどう伝わっているか分かりませんでした。でも、ティエナンさんは「ルールをむしして遊ぼう」と言ってくれたので、みんな楽しく遊ぶことができました。英語が話せなくても、理解しようとしていたから楽しかったです。

私は、変な英語を言ってしまったらどうしようと思って、ティエナンさんの前ではあまり英語を話せませんでした。でもガス君に英語で自己紹介をしてみたら、ティエナンさんがとてもほめてくれたので、うれしかったです。今度会った時、ゆうきをもって英語をもっと話したいです。「(文:水田咲来)」

福の里農業小学校

=10月15日=

今月は黒大豆枝豆の収穫です。少しは残して、来月には黒大豆の収穫です。



午後は、来年への準備です。

一斉に並んで、イネ収穫あとの田に肥料をまきました。

「いろいろなモノとヒトに出会い、体験！」

=SHUKUBA オープンデー=



10月28日(土)、29日(日)の2日間、SHUKUBA オープンデーを開催しました。

今回のオープンデーの目玉は、スタンプラリーで施設内の8箇所にスタンプを押す場所を設置して、施設内の各所を巡って楽しんでいただくことにしました。

テナント入居されている事業者さんの仕事内容に触れていただき、ワークショップを体験していただきました。

革細工工房では「革細工のブレスレット作りが初体験でむずかしかった」、丹波木綿の綿繰り、糸紡ぎでは「懐かしい、手間がかかりますね」と興味深く見学いただき、体験もしていただきました。蜜蝋ハンドクリーム作りでは「できあがったハーブの香りがなんともいえなかった」とハンドクリームを手にして喜んでいただきました。写真の展示やジオラマ、祭りの山車見学にも沢山の見学者があり、懐かしい福住や自分の故郷を見直す機会になったと好評でした。

また、篠山東雲高校によるヤギやウサギに恐る恐る近づく親子連れや学校園で育て、収穫した枝豆、栗、野菜や商品開発したクッキー等は完売となりました。更に、生徒3名による校歌など3曲の吹奏楽と先生の素晴らしい歌声が校内に響き渡り、沢山の拍手が送られました。

玄関のマルシェでは、雑貨、カバン、アクセサリ品の販売、カレー、パン、クレープ、弁当の飲食販売も好評でした。図書室では、フリーマーケットが開かれ、日用雑貨、手芸品に品定めをしながら、食事も楽しんで頂きました。エムズシステムさんの音響スピーカーを使ったBGMが流れ、甘〜いロイヤルミルクティーも人気がありました。2日間で300人を超える来場者にお越しいただき、「いろいろなモノとヒトに出合える楽しい SHUKUBA オープンデー」となりました。

